

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年6月1日(2006.6.1)

【公開番号】特開2004-67684(P2004-67684A)

【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2003-205416(P2003-205416)

【国際特許分類】

C 0 7 C 43/12 (2006.01)

C 0 7 C 41/18 (2006.01)

C 0 7 C 43/13 (2006.01)

C 0 7 C 47/198 (2006.01)

C 0 8 G 65/22 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

C 0 7 C 51/04 (2006.01)

C 0 7 C 59/135 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 43/12

C 0 7 C 41/18

C 0 7 C 43/13 C

C 0 7 C 47/198

C 0 8 G 65/22

C 0 7 B 61/00 3 0 0

C 0 7 C 51/04

C 0 7 C 59/135

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月11日(2006.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】 式(III)：

$$T'' - CFX' - O - R_f - CFX - \underline{T'''} \quad (III)$$

(式中

T''は - COClであり、

T'''はF、C₁ ~ C₃ペルフルオロアルキル、COCl、HまたはClであり、

X、X'とR_fは請求項1の式(II)の定義と同一意味である)

の対応の前駆体を、不活性溶媒中、20 ~ 150 °C、好ましくは80 ~ 120 °Cの温度で1 ~ 50atm、好ましくは1 ~ 10atmの圧力下、支持された白金、好ましくは金属フッ化物に支持された白金で形成される触媒の存在下で水素ガスで還元することからなる請求項1の式(II)の化合物の製法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この発明のさらなる目的は、式 (III) :



(式中

T'' は -COCl であり、

T''' は F、 $C_1 \sim C_3$ ペルフルオロアルキル、COCl、H または Cl であり、

X、X' と R_f は式 (II) の定義と同一意味である)

の対応の前駆体を、不活性溶媒中、20 ~ 150 °C、好ましくは 80 ~ 120 °C の温度で 1 ~ 50 atm、好ましくは 1 ~ 10 atm の圧力下、支持された白金、好ましくは金属フッ化物に支持された白金で形成される触媒の存在下で水素ガスで還元することからなる式 (II) の化合物の製法である。